



秋田大学教育文化学部附属小学校 校 報

はとの子だより

No. 9 令和8年7月21日（火）発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

行事を越えてたくましく成長した1学期

早いもので、令和8年度の1学期も終業式を迎えようとしています。保護者の皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、子どもたちは、毎日元気に学校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。

5月の「はとの子運動会」では、仲間と共に練習の成果を出し切り、最後まで全力で走り抜く姿がありました。色別表現「躍動～各色の思いを動きにのせて～」では、各色の趣向が凝らされ、テーマを踏まえて心一つに作り上げている姿に心が打たれました。

6月の5年生「自然体験学習」では、教室では味わうことのできない数々の体験を通して、自分のことは自分で行う自立心や、集団生活における規律の大切さを学びました。北海道函館市で、歴史の転換点と和洋折衷の文化に触れた6年生「修学旅行」では、自主性と協働性を育む班別自主研修を見事に成功させました。

はとの子運動会、自然体験学習、修学旅行…。大きな行事を経験する度に、子どもたちは大きく成長しました。失敗を乗り越え、仲間と協力し合い、自分の役割に責任をもつ中で、心身ともにたくましくなった瞳は、新任式・始業式で出会ったあの時よりも一層輝いているように感じられます。

もう一つ、この一学期に子どものもとへ足繁く通う中で心を打ったのは、子どもたちの「挨拶」と「歌声」でした。相手の目を見て、立ち止まってさわやかに挨拶をする姿に元気をもらいました。また、音楽室やはとの子ホールなどから校舎いっぱい広がる歌声も、本校の自慢であると感じました。仲間と心をつなげて美しいハーモニーを響かせようとする姿は、聴く人の心を揺さぶるものがありました。自分の思いを声にのせて相手に届ける「挨拶」と「歌声」。これらが根付いているのは、子どもの心が豊かに、そして健やかに成長している何よりの証であると感じました。

もうすぐ、夏休みが始まります。ご家庭でも、お子さんの一回り大きくなった姿を認め、温かい声を掛けていただければ幸いです。小学校〇年生の夏は一度きりです。子どもたちにとってかけがえのない時間となることを願っています。夏季休業中も規則正しい生活を心掛け、「はとの子の誇り」をもって、充実した毎日を過ごしてほしいと思います。

<保護者の皆様へ>

夏季休業中も、ご心配なことやお気付きの点などございましたら、遠慮なく担任にお話ください。2学期以降の指導や支援に繋げていきます。

～キラリ☆光る 子どもの姿から～



快適なアリーナで元気いっぱい！

今年の夏より、アリーナにエアコンが導入されました。熱中症になる危険度が高く、外体育や外遊びができない日であっても、涼しく安全なアリーナで元気に体を動かすことができるようになりました。厳しい暑さに負けず、安全な環境で伸び伸びと過ごしている姿に、私ども教職員は、たくさんのエネルギーをもらっています。

今後も熱中症対策を徹底し、子どもたちが安心して笑顔で活動することができる環境づくりに努めてまいります。



練習の成果が結実 ～吹奏楽部、男子ミニバススポ少の活躍～

本校吹奏楽部と男子ミニバスケットボールスポーツ少年団が、これまでの練習の成果を発揮し、輝かしい成績を収めました。おめでとうございます。

先日、林正彦校長より賞状を伝達しました。子どもたちの活動を、支えてくださっている保護者の皆様、関係者の皆様、温かいご声援をありがとうございました。



吹奏楽部

<吹奏楽部>

第68回秋田県吹奏楽コンクール
小学生小編成の部 「銀賞」

<男子ミニバスケットボールスポーツ少年団>

第14回じゅんさいカップミニバスケットボール三種大会
男子の部 「優勝」



男子ミニバススポ少